

看護教育論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小松 恵 特任准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

専門職教育としての看護教育を理解するために、看護教育の歴史的変遷を踏まえて、看護教育制度の現状と問題点を考えていく。准看護師問題、看護学教育の一元化および特定能力を有する看護師の問題等看護学教育を取り巻く様々な問題を検討し、今後どのような看護学教育が必要とされるかを考えていく。さらには、自身の看護職としての継続したキャリア開発と継続教育の関連性を考える。

・教育成果（アウトカム）

看護学教育の歴史的変遷を理解し、看護学教育の課題を考えることができる。また、看護提供者としてだけでなく、自身の看護職としての成長発展の責務、また教育者としての看護職の役割があることを自覚できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 3

・到達目標（SBO）

1. 看護と教育の共通性を考え、その意味を自身の言葉で表現できる
2. 現代日本における教育の課題と日本の看護教育制度の課題について理解できる
3. 現状の看護学基礎教育の教育課程の特徴と課題を理解できる
4. これまでの4年間を振り返り、大学教育における看護学教育について自身の意見を述べられる
5. 自身の看護職としてのキャリア形成のための継続教育の必要性を考えることができる
6. 理論と実践がむすびついた省察的实践者について理解できる

・授業日程

(矢) トクタヴェール講義室 2

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/23	金	2	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>看護と教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護という専門職を専攻した自分自身のこれまでの学習スタイルを振り返り、効果的な学習活動に活かせるようになる ・コルプの調査票を記入して、4つの学習者のタイプと、各タイプの強みを知ることができる ・実践者として必要な考え方と行動について知ることができる <p>事後：調査票チェック後の学習スタイルが自分のこれまで思っていた学習方法との相違について考える</p>
4/30	金	2	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>日本における教育の課題 日本の看護学教育の歴史的変遷を学ぶ(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学教育の歴史的変遷を理解できる ・日本の看護教育の現状について理解できる <p>事前：ナイチンゲール以前の看護について調べる 事後：終戦前の看護師養成についてまとめる</p> <p>【提出課題1】 保健師助産師看護師法がどのような法律であるかをまとめ、自身が分からなかったこと、質問としてまとめる</p>

6/8	火	1	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>日本の看護学教育の歴史的変遷を学ぶ(2) 保助看法と看護教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師と准看護師の教育の課題を考えることができる ・ 准看護師制度について、自身の考えをまとめることができる <p>※グループワークで意見の交換を行う。</p> <p>【提出課題2】 准看護師制度について授業で考えたこと、更に調べて自身の意見をまとめる</p>
6/10	木	2	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>チーム医療の中での看護の専門性を考える(1) 看護教育課程の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護にかかわる近年の制度改革を知り、これからの看護職の役割を考えることができる <p>※グループワークで意見の交換を行う</p> <p>※グループワークできなければ、看護職種といわれる職種のそれぞれの役割と養成方法と試験について調べる</p> <p>【提出課題3】 調べた職種の中で将来就きたい、または興味を持った職種をあげ、その理由を記述する</p>

6/14	月	1	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>チーム医療の中での看護の専門性を考える（２） 大学における看護教育を考える</p> <p>・多職種連携の中で看護職がどのような能力を持っている必要があるかを考えることができる</p> <p>事前：急速な看護師養成の大学化の要因について調べる 事後：看護師養成の大学化の課題について調べる</p> <p>【提出課題 4】 看護師になるために、何故大学を選んだか記述する</p>
6/15	火	1	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>看護継続教育（１） プロフェッショナリズム 看護倫理</p> <p>・プロフェッショナリズムの意味を考え、看護専門職として学び続ける責務を自覚できる</p> <p>事前：スペシャリスト、ジェネラリスト、プロフェッショナルの違いを調べる 事後：看護協会の倫理綱領を読み直す</p>

6/17	木	2	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>看護継続教育（2） 看護継続教育の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本における看護継続教育の現状を理解できる <p>※グループワークで意見の交換を行う</p> <p>事前：リカレント教育について調べる 事後：新卒看護師から5年後の自分を想定してみる</p> <p>【提出課題5】 看護師免許が2年ごと更新され、その都度試験を課されるようになった場合、どのような対策を立てて勉強するか記述する</p>
6/18	金	2	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>看護職としてキャリアを考える キャリアとは何か 看護職のキャリアディベロプメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアの意味を理解し、看護職としてのキャリアディベロプメントを考えることができる <p>事前：6/14に調べた職種の資料を読み直す</p> <p>【提出課題6】 最終課題（レポート）を提示する</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	看護教育学（第6版）	杉森みど里、舟島なをみ	医学書院	2016

参	ナースのための反省的実践教育と臨床をむすぶ学びのコア	メラニー・ジャスパー著	ゆみる出版	2014
---	----------------------------	-------------	-------	------

・成績評価方法

授業毎の課題 30 点、最終レポート 60 点、授業（ディスカッション等）への参加の状況 10 点で評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

授業は基本的には講義とディスカッションを交えて行う。また、授業後に課題を出し、その内容について検討を行うので、しっかり授業を聴き、その中で自身の考えをまとめることを求める。指定のテキストは使用しないが、準備した資料を精読すること。

ディスカッションには積極的に参加し、自身の意見を述べること。またわからないことなども積極的に質問し課題を共有すること。

※状況に応じてグループワークではなく個人ワークの場合もあり（グループワークのまとめは毎回提出すること。）

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

提出した課題については、授業内で共有する。（個人名を出すことはない）

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（EPSON EB-L610WVPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（ELMO PX-10）	1	講義用資料投影